

## 参院選 市民と野党の共闘が大きな力に 日本共産党 過去2番目601万超える比例得票

7月10日投開票の参院選は、憲法を守り民主主義をとり戻すため、野党と市民が力を合わせ共闘した戦後かってない歴史的な選挙となりました。野党共闘は大きな成功を収め、全国32の1人区全てで野党統一候補を実現し、11選挙区で勝利（前回の野党当選は2議席）。統一選挙区の多くで無党派層の6～7割を獲得しました。

日本共産党は、比例選挙で5議席、東京選挙区で1議席を獲得し、改選3議席から6議席に倍増。比例票は、前回参院選より86万5千票をふやす、601万6千余票で得票率10・74%へと前進しました。

茨城では、比例・選挙区共に過去最高の得票で比例得票率10%を超える19都道府県に入りました。選挙区の小林きょう子候補は前回比1・17倍の11万3833票（取手8208票）で第3位の次点を得ました。

選挙結果により、自公などの勢力が改憲発議に必要な3分の2議席を得たことは重大です。改憲を許さず、国民の暮らし、平和を守る政治へきり変えるため、日本共産党は野党・市民のみなさんとさらに力をあわせませう。

ご支援・ご協力ありがとうございました。

### 都知事選 鳥越氏 健闘

7月31日投開票の東京都知事選。前自民党衆院議員の小池百合子氏が当選しました。野党統一候補（民進、共産、生活、社民、生活者ネット）推薦の鳥越俊太郎氏は及びませんでした。鳥越氏は「任んで、働いて、学んで、環境によし」の4つのよしを掲げ、「都政を転換し、暮らし優先に」と主張。「平和と非核の旗を東京に」と訴えました。これらは今後の都政と国政の転換の在り方・方向を示す大きな意義をもつものです。

選挙戦は、多くの都民はじめ共闘した野党5党の共同が広がり連日奮闘しました。結果を受け、鳥越氏は「どこでも演説の多くの方が集まって下さるなど、皆さんのご奮闘に感謝。都知事選も野党の皆さんとの共闘で十分な戦いができた。衆院選でも統一して戦っていたら良かった」と挨拶しました。小池晃書記局長は「首都東京で野党と市民の共闘が発展したことの意義は大きい。今後とも多くの都民、政党のみなさんと力をあわせ、鳥越さんの公約・政策を実現する決意です」と述べました。

東京都知事選確定得票数(上位3名)		
当	2,912,628	小池百合子(無新)
	1,793,453	増田寛也(無新)＝「自」「公」「こ」
	1,346,103	鳥越俊太郎(無新)＝「民」「共」「社」「生」

### 一票の格差、投票権に格差

7月10日投票の参院選、投票率は比例代表で全国54・69%、前回より2%強の投票率が上がったとはいえ、2人に1人の投票では喜んでいられません。取手市は、反対に投票率が1・59%低下しました。為政者は「投票に行こう」と呼びかけながら、取手の投票締め切り時間は真夏にも関わら

ず18時（牛久、守谷、龍ヶ崎は20時）、テレビでも一部を除き20時までに投票をと呼びかけました。公職選挙法は朝7時から20時まで、特別の事情により投票時間の短縮を認められる特例があるものの、2時間短縮の特別の事情は取手市には見当たりません。「すべての国民は法の下に平等」と定めた憲法精神に反するのではないのでしょうか。

### 野党共闘へ大きな役割

### トーク&歌声集会

### 戦争法廃止・9条壊すな！総がかり取手行動パート10

7月24日、10回目の総がかり取手行動が取手福祉交流センターで約100人の参加で行われました。主催は戦争法廃止へむけ毎月集会やデモを行い、2000万人全国統一署名に取り組んで実行委員会。集会では、参院選で市民と4野党の共闘と勝利のために力を尽くした、茨城県市民連合事務局長の田村武夫茨大名誉教授が「選挙の結果と野党共闘の今後の展望」について講演し、改憲ストップへ引き続き総がかり行動の重要性を訴えました。

い」との記事を紹介。「茨城は1人区ではなかったが、茨城市民連合ができ、投票率の向上や民進・共産の得票率の増加（前回比）が図られたことや、今後地域市民連合の設立などで市民連合の足腰を強めていきたい」としました。

### 歌と演奏でホット一息 こういう集いもいいね！

集会では総掛かり行動の諸団体代表によるリレートークや、「引き続き市民と野党の共同を強め、来たる衆院選で野党と日本共産党の前進をはかりたい」とする日本共産党上野たかし県議の挨拶がありました。

トークの後は、コカリナとトランペット演奏、ピアノとアコーディオン、ギターの伴奏により参加者みんなで歌を楽しみました。

戦争法の廃止を求める 2000万人統一署名にご協力ありがとうございました。

全国で1,350万筆 取手で10,893筆が集まりました。国会に届けました。



田村氏は、参議院選結果についての朝日新聞社説「野党共闘の試みに意味があった。小選挙区の衆院及び1人区が全体を左右する参院の今の選挙制度では、巨大与党に対抗するには野党共闘がもっとも有効であるのは間違いない。政権選択を問う次の衆院選に向けて、どのような共闘ができるか。野党側が戦える体制を整えなければ、自民1人勝ちの選挙が更に続きかねな



## 9月県議会で一般質問を行います

傍聴にお出かけください

私は、県議会改革推進会議で「県民の声を自由に届けられる県議会に。発言規制はやめよ」と発言し、3人の日本共産党県議団の一般質問回数が年2回から3回になりました。9月12日（月）が、私の2度目の一般質問となります。

「若者の雇用の改善」「子どもたちが将来に夢と希望が持てる茨城へ」と掲げた公約を議会で取り上げ、ぜひとも実現したいと思います。子どもの貧困は深刻です。「家族の1ヶ月の食費は8千円。学校で出る給食が唯一のちゃんとした食事」などなど・・・。就学援助金制度の充実と普及徹底、子どもの

医療費窓口払い無料化、食事や学習への公的援助など、9月議会で取り上げたいことは山ほどあります。

それに、県は新しい道路をつくるには熱心ですが、停止線を引いたり、除草をしたりといった生活に身近な道路維持予算が余りにも少ない。こうした実態を変え、安心の街づくりを進めるなど、一般質問で取り上げる内容を絞り込んでいるところです。

8月は平和の月。戦争法を行使させない運動をはじめ、住民要求実現へ、みなさんの声を直接、橋本知事に届けます。

（県議会議員 上野たかし）



停車中の車列、取手駅西口駅ビル前



## 「モデル横断歩道」看板は立てたものの・・・？

茨城県警は取手市内4か所に交通マナー向上のため、モデル横断歩道を設置しました。ドライバーに歩行者保護の意識を高めてもらう方針だとか。上の写真は取手駅西口コンビニ前の路上で、横断歩道に看板があります。違法駐車への対応を「何とかしてほしい」の声が多く寄せられています。

駐車スペースがないため、歩行者にも、ドライバーにとっても悩みの多い西口駅前。市の抜本対策が求められます。

## 国保税引き下げ署名にご協力を！

2018(平成30)年から国民健康保険の運営が都道府県化(広域化)されます。現在は市町村と特別区で運営されていますが、今後は市町村が(実務)都道府県が(財政運営)と共同運営することになります。

広域化によって、多くの自治体で国保税の値上げが進められる下で、昨年度、政令指定都市で京都市、静岡市、堺市、横浜市、北九州市が引き下げを実現、静岡市は2年、堺市に至っては6年連続の引き下げです。その経過をたどると、

各自治体とも市民が議会や市長に対し、繰り返し要望や署名を提出し、運動をあきらめず推し進めた結果です。

取手市でも引き下げ要求を繰り返し議会に提出してきました。しかし実現していません。年金収入のみの生活者が増え続ける中、生活費に占める国保税の割合が多くなっており、滞納者も増え続けています。要求実現にむけ粘り強い運動が求められます。

今、共産党が取り扱っている「国保税引き下げ」署名に是非ご協力下さい。

## 6月議会を振り返って



党市議団長  
加増みつ子

### 国保税引き上げし、大企業の税金引き下げ

参院選を目前に6月議会が開かれました。日本共産党は、TPP協定を批准しないことを求める意見書など積極的に提案してきました。議案では、高井小学校の大規模工事、藤代公民館の耐震化・大規模工事など市民要望が実ったものもありますが、住民負担を重ねる国民健康保険税の限度額4万円引き上げ89万円へ、補正予算では、マイナンバー制度導入でコンビニでも利用できるシステムに変えるための2565万9000円、220名もの詰め込み保育所にする舟山・吉田保育所統合のための建設検討委員会への謝礼に17万円余り、市内大企業の法人(飲料水等製造)に住民税3500万円を返金し、実質税金ゼロになる予算計上等、市民にとって認められるものではありません。日本共産党はこれらに反対しました。

### 許されない 公共施設の縮小・利用料値上げ

その他、公共施設の老朽や人口減を理由にこれまでの公民館、保育所等を縮小する「公共施設整備計画(案)」、「手数料・使用料における受益者負担の在り方」として、障害者や高齢者等が公共施設を利用する際のわずかばかりの減額・減免について「過大な減額・減免は公平性を損なう」等としてその対象を限定していく考えを明らかにしました。公民館や保育所等公共施設は市民福祉・社会教育の向上のために寄与することが市の役割であり、認められません。

日本共産党市議団は、税金の使い方を市民の暮らし優先に転換し、子どもたち・高齢者・障害を持った方々など誰もが安心して暮らせる取手市へ、市民のみなさんと力を合わせ9月議会に向け頑張っていきたいと思っております。



## 日本共産党 創立94周年 記念講演会

日本共産党は7月15日、党創立94周年を迎えました。

「4野党プラス市民」が「自公と補完勢力」と真正面から対決した歴史的な参院選をふまえ、志位和夫委員長が記念講演します。

【新参院議員や、野党共闘で共同した市民等のあいさつも予定しています。】

ライブ中継

午後6時半～

8月5日(金)  
取手福祉会館  
小ホール

入場無料  
どなたも自由に  
参加ください